

2022年6月17日

株式会社岩手銀行

「岩手新事業創造ファンド2号」による投資について

岩手銀行（頭取 田口 幸雄）と、いわぎん事業創造キャピタル（代表取締役社長 稲垣 秀悦）は、共同で組成した「岩手新事業創造ファンド2号投資事業有限責任組合」の投資先として、リハビリ支援用のロボット医療機器を製造開発する株式会社東北医工（以下、「東北医工」という。本社：岩手県盛岡市、代表取締役 大関 一陽）に投資を行いましたので、下記の通りお知らせします。

脳卒中は、日本のみならず世界各国で死因上位を占めており、一命を取り留めても、重篤な後遺症を残す可能性が高いのが現状です。東北医工が開発した脳卒中リハビリテーションロボットは、脳卒中等の後遺症による手指の麻痺回復を目的としたリハビリ支援用の医療機器を目指しており、約10年にわたり研究開発が行われてきました。日本国内での販売の後、将来的には海外展開も計画しています。

本件の企業が製造開発を行った医療機器が、日本のみならず世界中の病院やリハビリ施設で利用されることは、社会的意義が高く、地域企業の飛躍が期待されることから投資判断を行いました。

記

1. 会社概要

会社名	株式会社 東北医工
代表者	代表取締役 大関 一陽
本社所在地	岩手県盛岡市北飯岡二丁目4番23号
設立日	2022年5月
事業内容	医療用機械器具の開発、製造及び販売
投資額・方法	非公表・株式取得
企業の特徴	脳卒中リハビリテーションロボット等医療機器の開発。岩手県を含む東北地方では脳卒中の罹患者が多く、患者のリハビリ機会を拡大すべく、岩手大学をはじめとする各大学との連携を推進しながら各種医療機器の開発に挑戦しています。

2. ファンドの概要

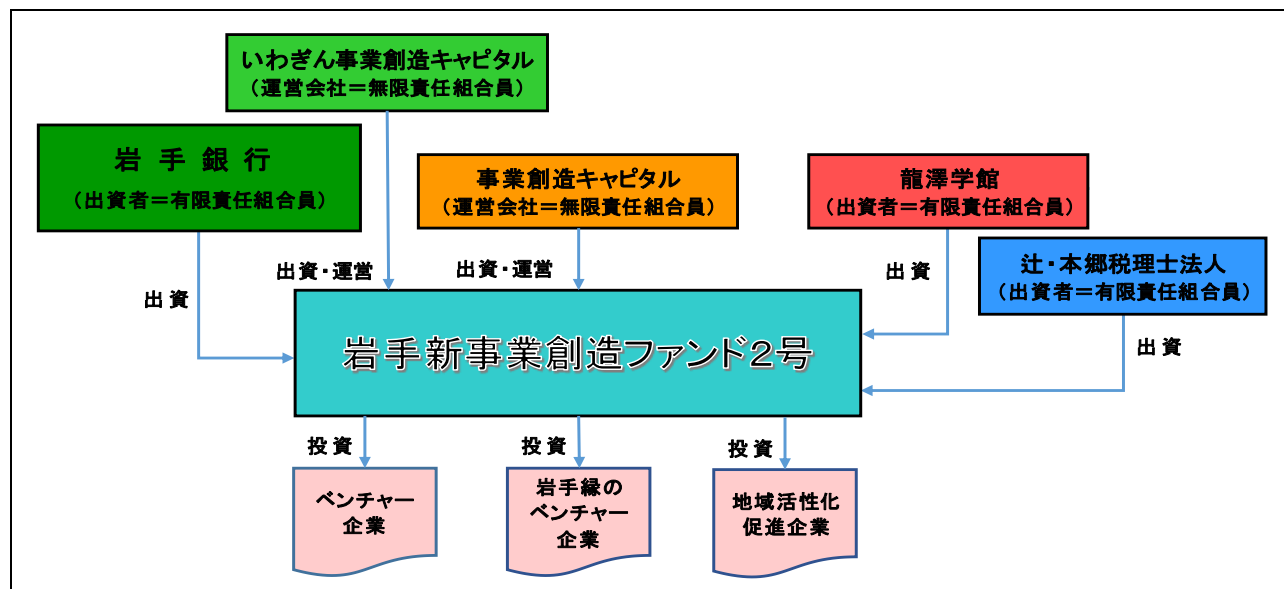
名 称	岩手新事業創造ファンド2号投資事業有限責任組合
設 立 日	2019年5月20日
ファンド規模	10億円
出 資 者	無限責任組合員：いわぎん事業創造キャピタル株式会社 事業創造キャピタル株式会社 有限責任組合員：株式会社岩手銀行 学校法人龍澤学館 辻・本郷税理士法人
期 間	投資期間7年、存続期間10年（但し、必要があれば、期間の満了日から1年毎に最長2年間の延長を行うこともあります）

【投資方針】

岩手県の経済の活性化に寄与することが期待される以下の企業について、投資を通じて育成を行い又は事業を支援することにより、組合契約期間中にこれらの企業価値を向上させ、株式公開、株式譲渡、自己株式取得等により投資資本額以上の回収を図る。

- (1) 岩手県のベンチャー企業
- (2) 岩手県出身者等が経営する岩手県外のベンチャー企業
- (3) 岩手県の経済活性化を促すことが期待できる岩手県外企業

3. ファンドのスキーム図



以上

【本件に関するお問合せ先】

岩手銀行 法人戦略部 齋藤 TEL: 019-623-1111
 いわぎん事業創造キャピタル 佐藤 TEL: 019-621-1470